

7	6	5	4	3	2	1	児童用 教師用 聞き取り問題
○グループの合い言葉を決めよう ○主語とじゅつ語、つながってる？ 中心人物について考えたことをまとめよう ―サーカスのライオン―	詩を読もう ―紙ひこうき― ―夕日がせなかをおしてくる― ○案内の手紙を書こう ○慣用句を使おう	書き手のくふうを考えよう ―「給食だより」を読みくらべよう― ○三年生の本だな	物語をみじかくまとめようかいしよう ―ワニのおじいさんのたから物― ○人物やものの様子を表す言葉 ○こころが動いたことを詩で表そう	「わたしの文を書こう」 ○漢字の	○メモを取り 読んで考えた ―自然のか 全体と中心 ―話を聞こう ―え合	○あなたのこと、教えて 音読を聞き合おう―すいせんのラッパ― ○図書館へ行こう ○国語じてんのつかい方	
 	 	 	 	 	  	 	



つぎの文しようを読んで、もんだいに答えなさい。

〔50〕

すいせんは、お日さまの高さをはかったり、風の速さをしらべたり、ラッパをプーとふいたりして、ときどき、もうすぐだというように、うんうん、うなずきます。

ありたちは、葉っぱの上で、ゆらゆらゆれて、じっとまっています。

あたたかい風が、ささあーとふいて、日の光が、一面にちりました。

（うん。今だ！）

すいせん、大きくいーっすって、

ラッパをふくっします。

プップ・パッパ・パッパ・プー

すき通った音が、地面をゆわ

り、おかを上って、

りたちは、目をまん

して、まわりを見

……すると、

くつ。

（あ、あそこだ、あそこだ。）

ありたちは、ひじをつついて、

むくつ。むくむくむくつ。グローブみたいな

かえるがとび起きました。

目をぱちぱちさせてから、すいせんを見つけ

ると、

「やあ、今年もありがとう。」

と、大きな声で言いました。それから、

「バオーン。」

と、あくびをして、

「はらへった。はらへった。はらへった。」

どっすん・ぽこ。どっすん・ぽこ。どっすん・

ぽこ。

と、林の方へとんでいきました。

「はあ！ かえるのおすもうさんだ。」

「かえるのよこづなだ！ どっすん、どっすん。」

ありたちは、葉っぱの上で、とび上がった手

をたたきました。

工藤直子「すいせんのラッパ」より

□にあてはまる言葉を一つえらんで○をつけなさい。

〔10〕

（ ） ささやきます

（ ） どなります

（ ） さわぎます

2 ありたちは、何をじっとまっているのですか。あてはまるものを一つえらんで○をつけなさい。

〔10〕

（ ） すいせんが、あそびに来ること。

（ ） すいせんが、ラッパをふくこと。

（ ） かえるが、ラッパをふくこと。

3 プップ・パッパ・パッパ・プーを音読するとき、どのように読むとよいですか。あてはまるものを一つえらんで○をつけなさい。

〔10〕

（ ） 小さな声で、ゆっくりと。

（ ） ひくい声で、はやく。

（ ） 大きな声で、元気よく。

4 かえるが、ありがとうとおれいを言ったのは、どうしてですか。「くから。」という言葉をつかっ

〔10〕

きなさい。

5 ありたちは、どんなかを見てとび上がった文しようの中から六じ

〔10〕

みみたいなかえる。

つぎの文しようが国語じように出てくるじようを、2・3の文しようを書きなさい。【20完答各5】

あしあと

あさい

あす

ちかい

チーム

ちいさい

□にかんじを書きなさい。ひつようならおくりがなも書きなさい。

【30各5】

しらべる

つかう

2

かんじ

れんしゅう

3

みどりいろ

いみ

5

6

一 前川さんは、スーパーマーケットではたらく人に、話を聞きました。これを聞いてもんだいに答えなさい。

1 前川さんが聞きたかったことは何ですか。〔30〕

2 前川さんは、話を聞きながらメモをとりました。見たことのない昆虫の写真をとりました。見たことのない昆虫の写真をとりました。見たことのない昆虫の写真をとりました。

インタビューメモ 5/20

聞いたこと

①ねふだを見やすくする

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

(1) ①に入る。〔10〕

(2) ②に入る。〔10〕

二 つぎの文しようを読んで、もんだいに答えなさい。

こん虫をかんさつしてみると、一日のうちの決まった時間だけ活動し、ほかの時間はじっと休んでいます。多くのこん虫は、この長い時間休む場所の色に、にた色をしています。じっとしているかぎり、ほご色は、身をかくすのにやく立ちます。

、こん虫が自分の体の色と同じような色をした所にいたとしても、動いたときなどには、鳥やトカゲに食べられてしまうことがあります。鳥やトカゲなどは、ちよつとした動作を見のがさない、するどい目を持っているからです。

、ほご色は、どんな場合でもやく立つとはかぎりませんが、てきにかこまれながらこん虫が生きつづけるのに、ずいぶんやく立っているのです。ほご色は、自然のかくし絵だといふことができるでしょう。

矢島稔「自然のかくし絵」より

1 には、どんな言葉が入りますか。〔10〕

このようにすると、さらに、ところが

2 ほご色が身をかくすのにやく立つのは、どんな場合だと書いてありますか。〔10〕

3 体の色と同じような色の所にいたとしても、動いたときに食べられてしまうのはどうしてですか。〔10〕

4 自然のかくし絵とは、どのような絵とされていますか。文しよう中からぬき出しなさい。〔5〕

、自然のかくし絵とは、どのような絵とされていますか。文しよう中からぬき出しなさい。〔5〕

四 には漢字を書きなさい。ひつようならくりがなも書きなさい。〔25〕

1 およぐ

2 こおり

3 あそぶ

4 もんだい

5 くばる



4

次の二つの文章を読んで、問題に答えなさい。

〔55〕

〔一つ目の文章〕

しっかりと野さいを食べよう

給食で出した野さいが毎日のこっています。わたしたちは、みなさんに、しっかりと野さいを食べてほしいと思っています。なぜなら、野さいには、大切なえいようがあるからです。

たとえば、夏の野さいであるトマトには、ビタミンCのものがふくまれています。このビタミンは、私たちの体を丈夫にするのに、なくてはならないもの。ふくまれていないと、病気にかかりやすくなるので、しっかりと野さいを食べよう。



〔二つ目の文章〕

しっかりと野さいを食べよう

給食で出した野さいが毎日のこっています。わたしたちは、みなさんに、しっかりと野さいを食べてほしいと思っています。なぜなら、育てている人たちのあいじょうがこめられた野さいをのこすのは、もったいないことだからです。

たとえば、夏の野さいであるトマトを作るためには、「わきめかき」という作業がいります。わきめかきは、一つ一つ手作業で行うのでとてもたいへんな作業ですが、トマトをおいしく食べてもらうために、あいじょうをこめて行っているのです。

育てている人たちのあいじょうがこめられた野さいが食品ロスになるのは、もったいないことです。育ててくれた人たちがえがおになるように、しっかりと野さいを食べよう。



この二つの文章を書いた人がいちばんつたえたいことは何ですか。二つの文章から同じ一文を三十六字でぬき出して書きなさい。点（ ）と丸（ ）も一字に数えて書くこと。

〔10〕

次のローマ字の読み方を（ ）にひらがなで書きなさい。〔10各5〕

- buta ()
- onēsan ()

次の言葉をローマ字で書きなさい。〔10各5〕

- あひる
- がっこう

2 二つの文章を読みくらべ、どのような内ようが取り上げられているか、 にあてはまる言葉を書きなさい。

〔二つ目の文章〕

野さいには、大切な がある。

給食でも、 野さいを使った料理をたくさん出す。これからの をのりこえられるように、

しっかりと野さいを食べよう。

〔二つ目の文章〕

育てている人たちの がこめられた野さいをのこすのは、 ことだ。

育ててくれた人たちが になるように、しっかりと野さいを食べよう。

書き手のくふうを読み取るとき、どんなことに気をつけ に入ることか。 記号で書きなさい。

同じことをつたえる文 も、取り上げる内ようが ことがある。

書き手のくふうは、 しゃしんの使い方 があるとき には、

函 文 文章 考

に漢字で書きなさい。

ひつようなら

夏は

あひる

えいよう

〔25各5〕

〔15各5〕

一 次の詩を読んで、問題に答えなさい。

夕日がせなかをおしてくる

阪田 寛夫

〔50〕

夕日がせなかをおしてくる

まっかなうでで

歩くぼくらの

でっかい声でよびかける

さよなら さよなら

さよなら

ばんごんがまつてる
あしたの朝ねすごすな

夕日がせなかをおしてくる
そんなにおすな

ぼくも負けずどな

さよなら さよ

さよなら 太

ばんごんがまつてるぞ

あしたの朝ねすごすな

1 にあてはまる言葉を、
で記号を書きなさい。

〔15 各 5〕

ア ひいてくる イ あした ウ おしてくる
エ きみたち オ 前 カ うしろ

2 夕日がせなかをおしてくるとは、夕日の
な様子ですか。「様子」という言葉を使っ
書きなさい。

〔10〕

3 ニか所の さよなら さよならは、だれが
言っていますか。詩の中からぬき出して書きな
さい。

〔20 各 10〕

さよなら さよなら ↓

が言う。

さよなら さよなら ↓

が言う。

4 さよなら 太陽は、どのように音読しますか。
音読の工夫を書きなさい。

〔5〕

二

案内の手紙にはどんなことを書くといいです
か。①～④にあてはまるものを、
らんで記号を書きなさい。

〔20 各 5〕

① さわやかな秋風がふくころになり
ました。お元気ですか。

②

ぼくたちの小学校で学習発表会があ
ります。一年生から六年生まで、ク
ラスごとにげきや合しよう、合そう
などの発表をします。

ぼくたちのクラスは、「ドレミの
歌」を合そうします。一生けん命練
習しているので、

③

ログラムと地図をいっしょにお
きます。ぜひ、にきてください。

④

ア 自分の名前

相手の名前

ウ 来てほしい気持ち

日時

オ 言葉

あいさつの言葉

書き

からえらんで記号

馬が 草を食
の手もか
馬が 草を食
の手もか



イ 気が合
もせま
もほしくなるくらいいいぞがしい。
エ ほか
をして時間を使う。

四

に漢字を書きなさい。ひつようならおく
りがなも書きなさい。また、() に漢字の
読み方をひらがなで書きなさい。

〔15 各 5〕

おとす

たすける

1

2

3

学校に

通

う。



○

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。 ※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
3 年	3 国上
「わたし」の説明文を書こう	
○漢字の表す意味	
P 56～63	
名 前	組 番
評 点	
知識技能	／65
思考判断表現	／35

一 つぎの文章を読んで、問題に答えなさい。『60』



三年一組 木村 あおい

1 わたしを一言で言います。なら、「全力で取り組み人」だと思います。

2 わたしは、二年生のとき、プリントやノートを配る係をしていました。三年生では生きた金魚の世話を毎日していました。クラスでかっている金魚の世話を毎日していました。

3 でも、全力で取り組み人だといふことが、あまり、うまくいっていません。一年間、取り組み人だといふことが、あまり、うまくいっていません。一年間、取り組み人だといふことが、あまり、うまくいっていません。

4 わたしのことについて、よく知らなくても、わたしは、金魚の世話を毎日していました。金魚の世話を毎日していました。金魚の世話を毎日していました。

木村さんがつたえたいことの中心は何ですか。「こと。」という言葉を使って書きなさい。 〈10〉

全力で取り組み人だということ。

※「こと。」がなければ2点減点。(教師判断)

2 木村さんが知ってもらいたい自分の様子で、あてはまるものを二つえらんで○をつけなさい。 〈10各5〉

- () 生き物係になって毎日のえさやりが楽しいこと。
- (○) 生き物係になって金魚の世話を毎日がんばっていること。
- () 配り係でプリントやノートを配るのがにがてだったこと。
- (○) 配り係でプリントやノートを毎日きちんと配っていたこと。

3 木村さんが一年間で直していきたくて思っていることは何ですか。「こと。」という言葉を使って書きなさい。 〈10〉

全力で取り組みあまり、むちゅうになってしまい、まわりが見えていないこと。

※「こと。」がなければ2点減点。(教師判断)

4 終わりのまとまりのだんらくはどれですか。だんらくの番号を書きなさい。 〈5〉

4

5 あいてに分かりやすくつたえるために気をつけることをまとめました。 の中に入る言葉を、 からえらんで記号を書きなさい。 〈25各5〉

○思ったことや を書き出す。

○書き出したことの から、何をいけばんつたえたいのかという、

オ を明らかにする。

「ア」でつたえたいことの中心を書き、「イ」で詳しく説明する。

ア 全体。イ 中心。ウ 終わり。カ 考えたこと。

つぎの文の線をついて、だんらくの番号を記号でつたえなさい。 〈20各5〉

曲 作曲 曲線 ア イ ウ

空白 ア イ ウ

ア まっすぐでない・まがるイ つくるウ 音楽のふし

三 に漢字を書きなさい。 〈20各5〉

1 苦手 2 家族

3 図書 委員 4 島

「君に、わしのたから物をあげよう。うん、そうしよう。これで、わしも、こころおきなくあの世へ行ける。」

① ワニのおじいさんのせなかのしわが、じつは、たから物のかくし場所を記した地図になっていたのです。ワニのおじいさんに言われて、おにの子は、おじいさんのせなかのしわ地図を、の新しい紙にかきうつしました。

「では、行っておいで。わたしはもうひとねむりする。たなか、君の目でたしかめるとい
そう言つて、ワニのおじい
おにの子、地図を見なが
の道を横切
岩あなをくぐ
になりながら、
たどりつきました。

そこは、切り立つよう
そこに立ったとき、
口で言えないほど
がっていたのです。

「ウ、おにの子はぼうしを取った。これがたから物なのだ——と、おにの子は、さういふはずきをしました。」

ここは、世かい中でいちばんすてきな夕やけが見られる場所なんだ——と思いました。

その立っている足もとに、たから物を入れたはこがうまっているのを、おにの子は知りません。

ア
夕やけを見ました。

川崎洋「ワニのおじいさんのたから物」より

1. にあてはまる言葉を、
 からえらん
 で記号を書きなさい。

〈15 各5〉

① 2 ワニのおじいさんのせなかのしわは、何になっていましたか。
〈5〉

たから物のかくし場所を記した地図。

(教師判断)

3 地図の×じるしの場所へたどりつきましたと
あります。おにの子が、地図の×じるしの場
所にたどりつくまでに通った場所を三つえらん
で○をつけなさい。

〈15各5〉

- | | | | | | |
|---|---------|---|-----|---|-----|
| (| | (| | (| ○ |
|) | 川ぎし |) | 野山 |) | つり橋 |
| (| | (| ○ | (| ○ |
|) | がけの上の岩場 |) | 森の中 |) | 岩あな |

4 おにの子は目を丸くしましたとありますが、
③ どうしてですか。そのわけを、「くから。」とい
う言葉を使って書きなさい。

〈10

口で言えないほどつくしいタヤけが、
いっぱいに広がっていったから。

※理由を表す言葉「から」がなければ2点減点

(教師判断)

5 おにの子が、たから物だと思ったものは何ですか。文章中から三字でぬき出して書きなさい。

タ
や
け

6 あらすじをまとめるとき、どんなことに気を
つけて書くとういのですか。 に入る言葉を、
 からえらんで記号を書きなさい。 ■〈15 各5〉

ごとに

イ

をせいりし、その中で

ア
ける。

○
ウ
言いかえろ
して、
出来事のへん

起こった出来事
人物の話したこと

つぎの言、雨が
を表現しますか
えらんて記号を書
さい。
【15各5

雨
つぽつ

雨がし
とふる

3
ばらば
ウ

ア
雨
か
に
ふ
る
様
子

いた
の雨がふりつづく様子

ウ 大きな雨つぶがまばらにふる様子

工 小さい雨つぶが少しふる様子

■ に漢字を書きなさい。ひつようならおく
 りがなも書きなさい。

■ 〔20各5〕

さいむい

寒い

集める

り
ゆう

あん
しん

理由

安心



二 次の二つの文章を読んで、問題に答えなさい。

〔55〕

【一つ目の文章】

しっかりと野さいを食べよう

給食で出した野さいが毎日のこっています。わたしたちは、みなさんに、しっかりと野さいを食べてほしいと思っています。なぜなら、野さいには、大切なえいようがあるからです。

たとえば、夏の野さいであるトマトには、ビタミンCのものがふくまれています。このビタミンは、私たちの体を丈夫にするのに、なくてはならないものなんです。夏は、あせをかき、汗をかき、のどがかわく季節です。ビタミンCは、あせをかき、汗をかき、のどがかわく季節に、しっかりと野さいを食べよう。



【二つ目の文章】

しっかりと野さいを食べよう

給食で出した野さいが毎日のこっています。わたしたちは、みなさんに、しっかりと野さいを食べてほしいと思っています。なぜなら、育てている人たちのあいじょうがこめられた野さいをのこすのは、もったいないことだからです。

たとえば、夏の野さいであるトマトを作るためには、「わきめかき」という作業がいります。わきめかきは、一つ一つ手作業で行うのでとてもたいへんな作業ですが、トマトをおいしく食べてもらうために、あいじょうをこめて行っているのです。

育てている人たちのあいじょうがこめられた野さいが食品ロスになるのは、もったいないことです。育ててくれた人たちがえがおになるように、しっかりと野さいを食べよう。



い	野	さ	わ
と	さ	ん	た
思	い	に	し
っ	を	、	た
て	食	し	ち
い	べ	っ	は
ま	て	か	、
す	ほ	り	み
。	し	と	な

この二つの文章を書いた人がいちばんつたえたいことは何ですか。二つの文章から同じ一文を三十六字でぬき出して書きなさい。点（ ）と丸（ ）も一字に数えて書くこと。

〔10〕

三 次のローマ字の読み方を（ ）にひらがなで書きなさい。〔10各5〕

- buta (ぶ た)
- onēsan (おねえさん)

四 次の言葉をローマ字で書きなさい。〔10各5〕

- あひる ahiru
- がっこう gakkō (gakkou も可)

5 トマトの実

3 作家

2 暑い

1 命

あひる

あつ

めい

〔25各5〕

〔15各5〕

2 二つの文章を読みくらべ、どのような内ようが取り上げられているか、にあってはまる言葉を書きなさい。

〔一つ目の文章〕

野さいには、大切な えいよう がある。

給食でも、おいしい 野さいを使った料理をたくさん出す。これからの あついきせつ をのりこえられるように、しっかりと野さいを食べよう。

〔二つ目の文章〕

育てている人たちの あいじょう がこめられた野さいをのこすのは、もったいないことだ。

育ててくれた人たちが えがお になるように、しっかりと野さいを食べよう。

書き手の くふう を読み取るとき、どんなことを、気をつけ ますか。 に入る言葉を、記号で書きなさい。

A cartoon illustration of a young boy with brown hair, wearing a yellow baseball cap, a blue long-sleeved shirt, brown shorts, and yellow shoes. He is carrying a black backpack and walking towards the right. In the background, there is a school building with a clock tower, two green trees, and a brown ground.

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえて、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
3 年	7 国上
令 8	
○グループの合い言葉を決めよう	
○主語とじゅつ語、つながってる？	
中心人物について考えたことをまとめよう	
サーカスのライオン	
P120～149	
名	前
組 番	
評	点
知識技能	／50
思考判断表現	／50

一 グループで話し合うときに気をつけることをまとめました。□にあてはまる言葉を、□からえらんで記号を書きなさい。

『30各10』

○話し合いを進める役わりを **エ** という。

○はじめに、話し合いの日 **ウ** をたしかめる。

○話し合いの区切りで、その **ア** で出された考えや決まったことを

アせい理 イさんかする ウ進め方

二 次の文を読んで、問に答えなさい。

ウ、目を細く、じんざは、チョココレートを食べた。

はうれしかったのだ。毎日やっていた。やってくるたびに、男の子はチョココレートを食べた。そして、お母さんのことを話して聞かせた。じんざはのり出して、うなずいて聞いていた。

ア、サーカスがあしたで終わるとい

う日、男の子はいきをはずませてとんできた。

「お母さんがね、もうじき、たい院するんだよ。」

それにおこづかいもたまったんだ。

あしたサーカスに来るよ。火の輪をくぐるのを見に来るよ。」

男の子が帰っていくと、じんざの

体に力がこもった。目が **ウ** 光った。



「……ようし、あした、わしはわかいときのように、火の輪を五つにしてくぐりぬけてやろう。」

一 □にあてはまる言葉を、□からえらんで記号を書きなさい。

〈10各5〉

アイいよ イだから ウけれども エすると

二 □にあてはまる言葉を、一つえらんで○をつけなさい。

() ぐるりと () ○ () ぴかっと () どんよりと () () しょぼしょぼと

三 ①目を細くして受け取ったとありますが、どうしてですか。そのわけを「□から。」という言葉を使って書きなさい。

〈10〉

(男の子が自分のチョココレートを半分こしてくれなかったが)うれしかったから。

※理由を表す言葉「から。」がなければ2点減点。(教師判断)

四 男の子がお母さんのことを話して聞かせたとき、じんざはどのような様子で聞いていましたか。文章中から十一字でぬき出して書きなさい。

〈10〉

のり出して、うなずいて聞いていた。

五 ③いきをはずませてとんできたとありますが、男の子が、じんざに知らせたことは何ですか。「□こと。」という言葉を使って二つ書きなさい。

〈10各5〉

お母さんが、もうじき、たい院すること。

あしたサーカスに来る。火の輪をくぐるの。来ることも可。

※「こと。」がなければ2点減点。(教師判断)

六 ④次の文を読んで、主語とじゅつ語のつながりがあやふやなところを直し、()にあてはまる言葉を書きなさい。

火の輪を五つにしてくぐりぬけてやろう。

※「こと。」がなければ2点減点。(教師判断)

次の文を読んで、主語とじゅつ語のつながりがあやふやなところを直し、()にあてはまる言葉を書きなさい。

『10各5』

①きのう食べたのは、カレーを食べました。

きのう食べたのは、(カレーです)。

②わたしは、すきなものは、からあげです。

わたしのすきなものは()、からあげです。わたしがすきなものは()、からあげです。

四 □に漢字を書きなさい。ひつようなら送りかなも書きなさい。

『10各5』

一 しょうぼう 二 はこび

消

運ぶ

東 書	
3 年	2
令 8 国 上	
○メモを取りながら話 読んで考えたことを ―自然のくらし絵― ○全体と中心	
38~55 名 前	
組 番	
評 点	
知識 技能	/35
思考 判断 表現	/65

聞き取り問題

※はじめにテストを裏返しにする。

必要であれば、学級の実態に応じて言葉を添えてよい。

一 聞き取り問題を始めます。テスト前から前川さんがスーパーマーケットで働く人の話を聞いています。テストの裏にメモを取りながら聞いてもいいです。全部聞き終わってから、問題に答えなさい。

(一回一分を目安に読む。)

スーパーマーケットで働く人の話

「スーパーマーケットでは、どんな工夫をしていますか。」

「わたしたちの店で働く人たちの工夫を、三つお話しします。」

一つ目は、値札を見やすくしています。とくに、おすすめの商品は赤い値札をつけています。赤い値札はよく見えます。

二つ目は、たくさんの商品を置くことです。お客さんでいっぱいになると、物が足りなくなることがあります。お客さんに気づいてもらって、お客さんがほしいと思う物を考えてお店に置くようにしています。

三つ目は、さわやかな挨拶と笑顔です。開店前には、みんなが笑顔で挨拶と笑顔をします。確認するときに、笑顔で話しかけています。お客さんに気持ちよく買い物をしてもらうためです。

このように、お店に来ていただいたお客さんに喜んでもらえるように工夫をしています。」

(もう一度読みます)

以上で読むのは終わりです。テストを表にして問題に答えなさい。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

二次元コードの読み取りもしくはクリックで再生

音声データ



※問題文が読み上げられます。